

令和 8 年度第 1 回 青森市景観審議会 会議概要

会議名	令和 8 年度第 1 回 青森市景観審議会
開催日時・場所	令和 8 年 7 月 24 日（金） 13 時 30 分～15 時 45 分 中央市民センター 集会室
出席者	<景観審議会委員> 飯田善之、石戸 尚、石村光也、楠美耕作、 田中正子、玉熊 訓、常田隆是、森内忠良（会長） <事務局> 都市整備部長 木村颯希 （公務により途中退席） 都市整備部 都市政策課長 葛原積範 ほか 2 名 <案件 1 担当課> 教育委員会事務局 教育施設課長 漆館大一 ほか 1 名 都市整備部 建築営繕課長 和田 尚 ほか 2 名 <案件 2 担当課> 市民病院事務局 新病院整備推進課長 淋代優樹 ほか 3 名
欠席者	岩瀬直樹 委員、成田芙美 委員、服部浩之 委員
案件 1 の会議概要	
担当課	青森市立泉川小学校校舎等改築事業【設計段階】について、資料に基づき説明。
委 員	校名などの外部サインや、地域の方や外部の方が初めて来たときに分かりやすい屋内サインの計画はあるか。
担当課	外部は児童玄関上部、職員玄関、放課後児童会入口等に分かりやすく設置予定。 屋内サインは実施設計で、子どもに好まれるものを詳細に検討する。
委 員	緑豊かで潤いのある敷地にしてほしい。また、風や砂の飛散対策を考慮してほしい。経年で荒れがちな花壇や教材園は、管理しやすい規模にしてほしい。
担当課	既存樹木は工事に支障があるもの以外極力残し、新たに植樹も検討する。グラウンドは砂埃が飛散しにくいクレー舗装を予定している。教材園は学校の要望（低学年のヘチマ栽培など）を聞き、外構の設計で対応する。
委 員	西側の田からの寒風による外階段への積雪対策や、ピロティ部分（放課後児童会玄関側）までの除雪動線を考慮してほしい。
担当課	西側階段には屋根の設置を検討する。放課後児童会玄関は、ピロティ内に設けることで積雪対策をした。このほか、校舎と体育館の間に通路を設け、歩行動線に配慮した。除雪用重機の動線については、外構工事の際に検討する。

委 員	雪庇防止材や笠木ヒーターは、外観を損ねてしまう懸念があることや、高い維持費、解け残りなどの課題がある。より良いものを検討してほしい。
担当課	笠木ヒーター等で雪が大きく捲れる前に落とすことなどを想定しており、実施設計で検討する。
委 員	普通教室や特別支援教室の数は、将来的な生徒数を考慮しているか。南側の窓に、カーテンは付くか。
担当課	将来の児童数見込みに合わせて設計している。これまで、建替えがあった場合、児童が増える傾向にあるため、教室前のワークスペースを普通教室に転用できる可動性を持たせている。もちろんカーテンも設置し、庇の出幅も工夫して遮熱する。
委 員	不審者の侵入を防ぐ門や鉄扉などは設置されるか。
担当課	青森市は冬季の除雪車両侵入の観点から、門扉ではなく、建物内部でセキュリティを行うことを基本としている。
委 員	洪水浸水想定 1m の地域。体育館等は床を 1m 上げているが、なぜ放課後児童会や防災倉庫のあるエリアは上げなかったのか。
担当課	バリアフリーの観点から放課後児童会はスロープなしで入れるようフラットとした。ただし、防災倉庫に関しては実施設計で校舎側（高床）に持ってくることも含め、詳細を検討する。また、地域の避難所となる体育館アリーナを 2 階に配置し、被災時に地域住民が使いやすいよう家庭科室（特別教室ゾーン）を隣接させている。
委 員	新校舎にプールを設置しない理由は何か。
担当課	老朽化と監視員不足等の社会的背景から市内の学校プールは休止する方針としており、市民センターなどのプールヘバスで送迎する方法へシフトしているため、本校でも設置しない。
議 長	本日、委員の皆様からいただいた様々な意見を参考としながら、可能な範囲で実施設計に活かしていただきたいと思う。 これで、案件 1 の審議を終了する。
案件 2 の会議概要	
担当課	共同経営・統合新病院整備事業【計画段階】について、資料に基づき説明。
委 員	現在の浜田中央公園はどうなるのか。また、環状線の高速道路入口付近は、重大事故が多い場所だが、樹木の配置で見通しが悪いなど怖いと感じる。
担当課	浜田中央公園は、現状維持を望む地域住民の声に配慮し、変更しない。ただし、高速道路側から救急車が直接敷地内に乗り入れる通路を公園西側に整備する。渋滞緩和等のために、入口は南側の国道と東側の青森運輸支局前の通りに分け

	ている。なお、青森運輸支局前の通りは、病院開院に向けて拡幅工事を行う予定。
委 員	一般車両、バス、タクシーが 1 本の道路に集中すると混雑の原因となる。バスは、混雑緩和のため、別ルートでの乗り入れを検討すべき。
担当課	バスに関しては、敷地内を通り抜けて環状線側へ抜けられる通路を確保している。また混雑緩和のソフト面の対策として、新病院では予約管理を徹底し、午後にも外来診察を行う運用を検討中。
委 員	駐車場について、現在の県病（490 台）と市民病院（308 台）の計約 800 台に対し、新病院の確保台数は何台か。
担当課	来院者用立体駐車場だけで約 700 台を計画。これに加えて平面駐車場も確保し、十分な駐車スペースを確保する予定。
委 員	ドクターヘリのヘリポートは、職員用立体駐車場の屋上に設置される予定だが、入院患者や北側・南側の隣接住宅地への騒音やダウンウォッシュ（吹き降ろし風）、雪対策はどうなっているか。
担当課	住宅の真上を通らない飛行ルート（南東から進入し、北西に抜ける）を設定し、騒音や風の影響を抑える。ヘリポートマーク視認のため、融雪設備の設置も検討中。病室からの見え方については、井の字型の構造上、どうしてもヘリの離着陸が見える向きはあるが、できるだけ配慮したい。
委 員	院内保育所について、使い勝手を考えると病院内にある方が良いのではないか。また、病棟の「井の字型」は吹き溜まりや雪庇が発生しやすいのでは。
担当課	病院棟は免震構造を採用しているため、コスト削減の観点から保育所を耐震構造の別棟とした。井の字型の雪対策については、専門家によるシミュレーションを基に、吹き溜まりや雪庇の懸念箇所へ融雪設備等を設置する設計を行う。
委 員	アレルギーや感染症（花粉症など）に配慮し、むやみに植栽を増やさず、管理の手間や経費を抑えて医療機能に特化してほしい。
担当課	現在の案はあくまでイメージ段階であるため、ご意見を踏まえ、植物の選定や植栽密度について検討していく。
議 長	本日、委員の皆様からいただいた様々な意見を参考としながら、可能な範囲で設計に活かし、良い設計をお願いしたいと思う。